

# ホリスティック企業レポート ディップ

## 2379 東証一部

アップデート・レポート  
2014年11月7日 発行

一般社団法人 証券リサーチセンター



証券リサーチセンター  
審査委員会審査済 20141104

# ディップ (2379 東証一部)

発行日: 2014/11/7

## インターネットにより求人情報を提供する大手企業 良好な経営環境と経営施策による収益拡大で業績好調続く

### > 要旨

#### ◆ 求人・求職情報事業と看護師紹介事業を展開

・ディップ(以下、同社)は、インターネットを利用した求人広告の掲載料と人材紹介料を収入源としている。アルバイトの「バイトルドットコム」と派遣の「はたらこねっと」、及び看護師人材紹介事業「ナースではたらこ」が同社の主力サイトである。

#### ◆ 15年2月期上期は大幅増益

・15/2 期第 2 四半期累計(以下、上期)決算は、前年同期比 52.8%増収、同 419.6%営業増益であった。6月16日に同社が修正した業績予想に対する達成率は売上高 113.1%、営業利益 237.5%であった。  
・変動費が殆どなく売上増が利益に結び付くため、修正予想に対する売上高の上積み分がほぼ修正予想の営業利益に加算されたことが、達成率の高さにつながった。

#### ◆ 15年2月期通期業績も引き続き順調な模様

・15/2 期について同社は、前期比 32.0%増収、同 75.9%営業増益を見込んでいる。下期の予想売上高は、期初及び修正予想を修正しない一方で、下期の予想営業利益は広告宣伝費等の予算を増額したことにより、修正予想に比べ下方修正された。  
・証券リサーチセンター(以下、当センター)は、同社の期初予想と同水準であった業績予想を前期比 41.8%増収、同 110.0%営業増益と修正した。上期実績を踏まえ下期の予想売上高を増額したためである。

#### ◆ 投資に際しての留意点

・同社は上期末と期末の年 2 回配当を実施することとし、15/2 期上期末配当金は 1 株当たり 26 円である。年間配当金は 1 株当たり 45 円を計画している。  
・当センターでは配当性向 30%程度の維持を想定し、15/2 期の 1 株当たり年間配当金は 54 円を予想する。16/2 期以降も増益傾向が続くと見込んでいることから、増配基調が続くと予想する。

#### 【2379 ディップ 業種: サービス業】

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2012/2	11,432	20.0	803	281.2	763	354.8	378	—	33.2	316.3	8.0
2013/2	9,142	20.0	248	69.1	233	69.4	61	-83.7	5.6	313.5	8.0
2014/2	13,050	42.7	1,714	590.0	1,702	629.6	940	—	85.1	389.8	23.0
2015/2 CE	17,229	32.0	3,015	75.9	3,011	76.9	1,661	76.6	150.0	—	45.0
2015/2 E	18,500	41.8	3,600	110.0	3,596	111.3	2,000	112.8	180.6	544.4	54.0
2016/2 E	21,000	13.5	3,900	8.3	3,896	8.3	2,200	10.0	198.7	609.6	60.0
2017/2 E	23,000	9.5	4,200	7.7	4,196	7.7	2,400	9.1	216.7	743.1	65.0

(注)CE:会社予想、E:証券リサーチセンター予想

### アップデート・レポート

2/12

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポートの配信に関して閲覧し投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。また、本件に関する知的所有権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

アナリスト: 松尾 十作

+81(0)3-6858-3216

レポートについてのお問い合わせはこちら

info@stock-r.org

#### 【主要指標】

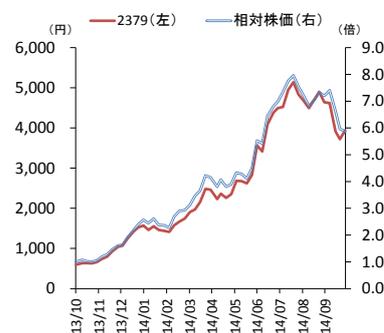
	2014/10/31	
株価(円)	3,935	
発行済株式数(株)	12,400,000	
時価総額(百万円)	48,794	

	前期実績	今期予想	来期予想
PER(倍)	46.2	21.8	19.8
PBR(倍)	10.1	7.2	6.1
配当利回り(%)	0.6	1.4	1.5

#### 【株価パフォーマンス】

	1カ月	3カ月	12カ月
リターン(%)	-20.7	-11.5	535.7
対TOPIX(%)	-21.2	-14.9	524.0

#### 【株価チャート】



(注)相対株価は対TOPIX、基準は2013/11/1

## > 事業内容

### ◆ インターネットの求職・求人情報サイトを運営

ディップ (以下、同社) は、インターネットを利用した求人情報の提供と人材紹介を主たる事業とし、アルバイト、派遣、契約社員、正社員、あるいは医療関係者などの特定の労働形態や職種などに応じて専用のサイトを設けている。

同社の事業はメディア事業とエージェント事業に分けられる。

メディア事業は求人広告事業であり、同社が運営するインターネット上の求人サイトに出稿する企業からの求人情報掲載料が売上高となる。同社の主力サイトは「バイトルドットコム」、「はたらこねっと」、「転職 Gold」の3つである。

注1) カラーバイトル  
仕事内容を分野別に掲載したサイト「カラーバイトル」には、軽作業系で製造業などを専門とする「バイトルブルー」、フード系及び食品販売を専門とするサイト「バイトルグリーン」、オフィス系などのホワイトカラー系専門サイト「バイトルホワイト」、高収入の専門サイトである「バイトルイエロー」がある。14/2期に掲載が開始された。

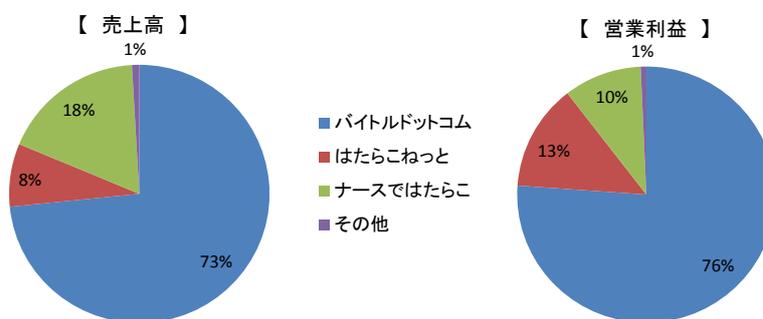
「バイトルドットコム」は、アルバイト希望者と求人企業を結ぶサイトで、14/2期の売上構成比は73%、営業利益構成比(調整額控除前、以下同様)は76%に達する主力事業である。「バイトルドットコム」には、サブカテゴリとして、仕事内容を分野別に掲載した「カラーバイトル<sup>注1)</sup>」と、15/2期から掲載を開始した職種別に特化した複数の専門サイトがある。専門サイトには、コンビニエンスストアのバイトに特化した「コンビニバイトル」、服飾販売に特化した「Apparel Collection」、カフェ業界に特化した「Café Baitoru」、リゾート地の短期及び住み込みバイトに特化した「リゾートバイトル」、工場系の仕事に特化した「工場バイトル」、ナイトワークに特化した「バイトルセレブ」等がある。

「はたらこねっと」は、派遣社員の求人情報を提供しており14/2期の売上構成比は8%、営業利益構成比は13%である。15/2期より女性向けに派遣会社及び転職エージェントの求人情報を集約した求人及び転職サイト「はたらこ index」の掲載が開始された。

「転職 Gold」は採用成功報酬型の総合転職情報サイトである。13年11月下旬に従来のロボット検索型サイト「ジョブエンジン」を閉鎖すると同時に運営を開始した。

エージェント事業は、看護師専門の求人サイト「ナースではたらこ」を運営しており、人材紹介による成功報酬を収益とする事業である。具体的には、転職を希望する看護師及び准看護師に医療機関を紹介する窓口となるサイトを運営し、転職実現時に医療機関より仲介手数料を得ている。14/2期の売上構成比は18%、営業利益構成比は10%である。当該事業への参入は09年で、同社は後発企業である。

【 図表 1 】 サイト別売上高及び営業利益構成 (14/2 期)



(注) 営業利益は調整額控除前

(出所) ディップ決算説明会資料より証券リサーチセンター作成

> SWOT分析

◆ SWOT 分析

同社の内部資源（強み・弱み）及び外部環境（機会・脅威）の状況を整理すると図表 2 のようにまとめられると証券リサーチセンター（以下、当センター）では考えている。

【 図表 2 】 SWOT 分析

項目	ディップの特質
強み Strength	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業界トップの知名度と実績、運営するサイトの高い評価（看護師専門の転職サイトである「ナースではたらこ」は、13年度楽天リサーチ調べ顧客満足度第1位）</li> <li>●主要サイトの豊富な情報量</li> <li>●閲覧者から高い支持を受けているサイトのユーザビリティ</li> <li>●収益性が高く、財務体質も健全</li> </ul>
弱み Weakness	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特定人物（社長）、特定サイトへの依存が大きい</li> <li>●経済環境及び労働需要に収益が左右されやすい</li> </ul>
機会 Opportunity	<ul style="list-style-type: none"> <li>●労働市場の流動化、転職市場の拡大</li> <li>●企業が多種多様な労働形態を用意し、状況によりアウトソーシングする流れ</li> </ul>
脅威 Threat	<ul style="list-style-type: none"> <li>●競争激化</li> <li>●労働関連に関する法律などの改正、新規の関連法律の施行</li> <li>●システムトラブルの発生</li> <li>●個人情報情報の漏洩</li> </ul>

(出所) 証券リサーチセンター

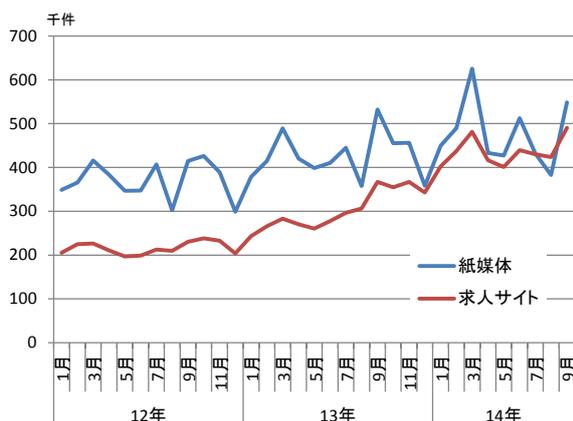
> 業界動向

◆ 求人サイト需要高まる

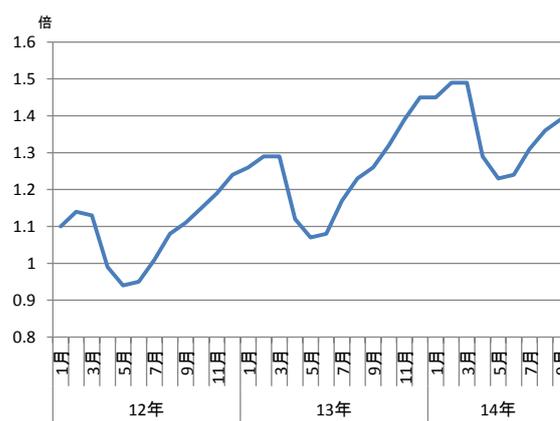
図表 3 は 12 年 1 月から 14 年 9 月迄の広告件数の推移を表している。13 年の年初よりインターネット上の求人サイトの広告件数が増加しており、14 年 8 月には求人サイトの広告件数が紙媒体全体（有料求人情報誌、フリーペーパー、折込求人紙）のそれを上回るなど、紙媒体と遜色ない水準となっている。手元のスマートフォンなどで最新情

報が閲覧できる利便性が求人者に重宝がられているからと思われる。図表4はパートタイムの有効求人倍率の推移だが、14年に入っても、有効求人倍率は高い水準が続いている。労働需給のタイト化が広告件数の上昇(特に求人サイト)をもたらしていると思われる。

【図表3】 広告件数推移



【図表4】 パートタイムの有効求人倍率



(出所) 図表3は全国求人情報協会のHP、図表4は厚生労働省HPに掲載されたデータに基づき証券リサーチセンター作成

## > ESG活動・分析

### ◆ 環境対応 (Environment)

同社は環境方針は策定していない。なお、同社が手がけている「インターネットによる求職及び求人のマッチング」というビジネスは、それ自体がペーパーレスにより環境保全に資する事業と考えることができる。

### ◆ 社会的責任 (Society)

同社は、社員のボランティア活動を支援する「ボランティア活動サポートプログラム」や子供のいる従業員も安心して長く働ける「チャイルドケア・サポートプログラム」等を設けている。今般、新たに経済産業省補助事業である社会人インターンシップ「大人の武者修行」の人材受け入れ先として選出された。「大人の武者修行」とは、所定の条件<sup>注2</sup>を満たしている応募者がサービス産業の優良企業<sup>注3</sup>に一定期間勤めて業務内容及び業務手法を勉強し、応募者が所属している組織(会社等)に戻り、成果を業務に反映させる制度を指す。

### ◆ 企業統治 (Governance)

同社の取締役5名のうち、社外取締役は1名である。執行役員制度を取り入れており、取締役兼務者以外に2名の執行役員がいる。常勤監査役が1名、非常勤監査役が2名で、監査役は合計3名(そのうち

注2) 所定の条件

サービス産業に勤務し、中小企業法に基づく中小企業に勤めていること。

注3) 優良企業

「ハイ・サービス日本300選」受賞企業、「経営品質賞」受賞企業、おもてなしに優れた企業などで、「大人の武者修行」に賛同した企業及び団体を指す。

2名は社外監査役)で、2名は公認会計士、1名は弁護士である。コンプライアンスについては、法令遵守はもとより社内ルールの徹底、社会規範の遵守も含めた基本方針を掲げ、社員研修の充実などに努めている。

> 決算概要

◆ 15年2月期上期は営業大幅増益

15/2期第2四半期累計(以下、上期)決算は、売上高9,049百万円(前年同期比52.8%増)、営業利益1,772百万円(同419.6%増)、経常利益1,773百万円(同443.8%増)、純利益953百万円(同571.4%増)であった。第1四半期決算発表前の6月16日に修正された上期業績予想(以下、6月修正予想)に対する達成率(図表5の達成率\*2)は、売上高113.1%、営業利益237.5%であった。

売上高は修正予想に対して、メディア事業で990百万円、エージェント事業で同59百万円上回った。変動費が殆どなく売上増が利益に結び付くため、修正予想に対する売上高の上積み分(1,049百万円)がほぼ修正予想の営業利益に加算され、6月修正予想に対し1,026百万円上回った。

【図表5】15年2月期上期決算概要

	期初予想	修正予想	実績	前年同期比	達成率*1	達成率*2
	(A)	(B)	(C)		(C/A)	(C/B)
売上高	7,320	8,000	9,049	52.8%	123.6%	113.1%
営業利益	467	746	1,772	419.6%	379.4%	237.5%
経常利益	462	744	1,773	443.8%	383.8%	238.3%
純利益	237	392	953	571.4%	402.1%	243.1%

(注) 修正予想とは、14年6月16日にディップが開示した期初予想の修正を指す  
 達成率\*1は期初予想に対する達成率  
 達成率\*2は、6月修正予想に対する達成率  
 (出所) 決算短信及びディップニュースリリースより証券リサーチセンター作成

主要サイト別でみると、「バイトルドットコム」は、売上高6,878百万円(前年同期比67.7%増)、営業利益1,830百万円(同193.8%増)であった。月間平均契約社数は6,667社、前年同期比25.2%増であったが、大手顧客にシフトしたことから、掲載情報数は143,952件、同53.3%増と大きく伸長した。パートの有効求人倍率が高い水準で推移するなか、既存サイトへの入稿が順調に拡大したことに加えて、新たに「コンビニバイトル」等の専門サイトを立ち上げたことが奏功した。掲載情報数の伸長率より増収率が高いのは、受注価格の是正が進んだためである。

「はたらこねっと」は、売上高 799 百万円（前期比 72.7%増）、営業利益 334 百万円（同 135.1%増）であった。ヤフー（4689 東証一部）の連結子会社である株式会社インディバルとの業務提携により、「Yahoo! JAPAN」の求人情報ページと同社の「はたらこねっと」が 04 年 4 月 1 日からリンクされた効果から掲載情報数が 67,585 件、同 48.1%増と伸長したためである。「はたらこねっと」においても受注価格の是正が進み、増収率が掲載情報数の伸長率を上回った。

エージェント事業である「ナースではたらこ」は、売上高 1,333 百万円（前年同期比 3.2%増）、営業利益 365 百万円（同 94.5%増）であった。増収率がメディア事業に比べて見劣りするの、14/2 期第 3 四半期に一部のキャリアアドバイザーをメディア事業に異動させたためである。一方、人員減少による固定費の低下で高い増益率となった。

全社の営業経費については以下の通りである。販売促進費を含む広告宣伝費は 2,693 百万円（前年同期比 66.6%増）で、対売上高比率 29.8%（前年同期 27.3%）と拡大した。しかし、その他経費が増収率を下回ったため、販売費及び一般管理費の対売上高比率は前年同期比 9.6ポイント低下の 71.1%となった。このため、増収効果で売上総利益率が同 4.3%ポイント上昇の 90.7%であったことと相まって、売上高営業利益率は同 13.8%ポイント改善の 19.6%であった。

## > 業績見通し

### ◆ ディップの 15 年 2 月期予想

同社は 15/2 期上期決算発表と同時に、通期業績についても以下の通り修正した。修正予想⇒上期決算発表時点予想（以下、新予想）の順で、売上高 16,180 百万円⇒17,229 百万円（前期比 32.0%増）、営業利益 2,529 百万円⇒3,015 百万円（同 75.9%増）、経常利益 2,521 百万円⇒3,011 百万円（同 76.9%増）、当期純利益 1,387 百万円⇒1,661 百万円（同 76.6%増）である。なお、サイト別の業績予想は開示していない。

15/2 期通期の新予想売上高は、上期売上高が 6 月修正予想に対して上振れた額が上乘せされただけで、下期の新売上高予想は期初予想から 6 月修正予想、新予想ともに修正されていない。下期の予想営業利益が減額修正されているのは、販売促進費や広告宣伝費を中心に販売費及び一般管理費の予算額を積み増す計画があるためである。

15/2 期下期に計画している施策は、メディア事業の「バイトルドットコム」における専門サイト追加等である。

【 図表 6 】 15 年 2 月期業績予想概要

＜14/2期決算発表時点＞

	14/2期		15/2期予想			
	上期	下期	上期	前年同期比	下期	前年同期比
売上	5,921	7,129	7,320	23.6%	8,180	14.7%
営業利益	341	1,373	467	50.7%	1,783	29.9%
経常利益	326	1,376	462	57.2%	1,778	29.2%
純利益	142	798	237	106.4%	1,003	25.7%

＜14年6月16日時点＞

	14/2期		15/2期予想			
	上期	下期	上期	前年同期比	下期	前年同期比
売上	5,921	7,129	8,000	35.1%	8,180	14.7%
営業利益	341	1,373	746	118.8%	1,783	29.9%
経常利益	326	1,376	744	128.2%	1,777	29.1%
純利益	142	798	392	176.1%	995	24.7%

＜15/2期上期決算発表時点＞

	14/2期		15/2期予想			
	上期	下期	上期	前年同期比	下期	前年同期比
売上	5,921	7,129	9,049	52.8%	8,180	14.7%
営業利益	341	1,373	1,772	419.6%	1,243	-9.5%
経常利益	326	1,376	1,773	443.8%	1,238	-10.0%
純利益	142	798	953	571.4%	708	-11.3%

(出所) 決算短信及びディップニュースリリースより証券リサーチセンター作成

#### ◆ 証券リサーチセンターの 15 年 2 月期予想

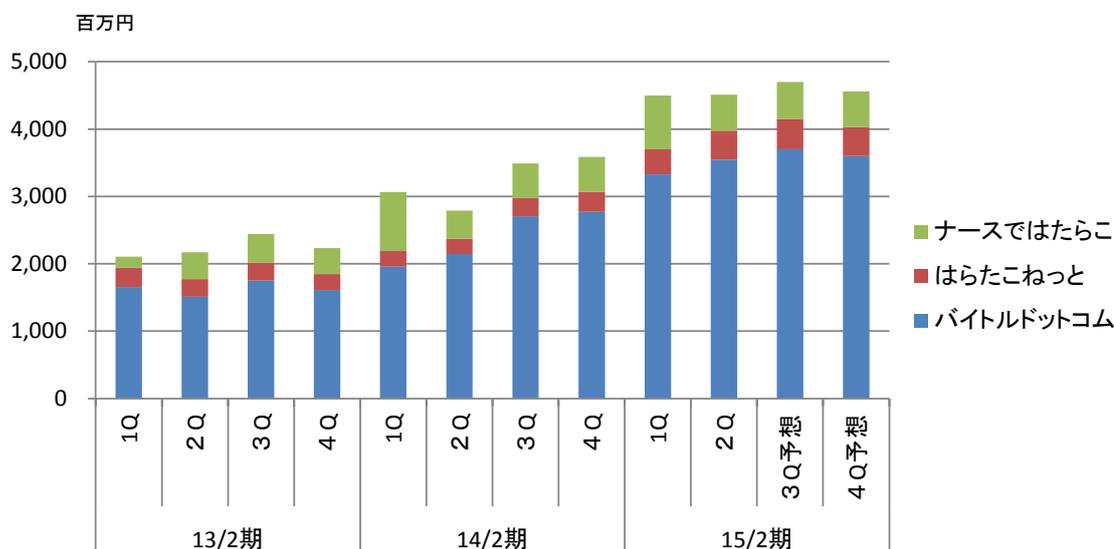
当センターでは、同社の期初予想と同水準であった業績予想を、上期実績を踏まえて修正した。前回予想（14 年 5 月公表）⇒今回予想の順で、売上高 15,500 百万円⇒18,500 百万円（前期比 41.8%増）、営業利益 2,250 百万円⇒3,600 百万円（同 110.0%増）、経常利益 2,240 百万円⇒3,596 百万円（同 111.3%増）、当期純利益 1,240 百万円⇒2,000 百万円（同 112.8%増）とした。

売上高については 15/2 期上期実績に基づき、下期予想売上高を前回予想より増額修正した。このため、同社の新予想に比べ高い増収率となっている。媒体別予想売上高については「バイトルドットコム」を前回の 11,680 百万円から今回予想で 14,220 百万円（前期比 48.4%増）へ、「はたらこねっと」は同順で 1,200 百万円から 1,700 百万円（同 65.0%増）修正したが、「ナースではたらこ」は前回と同じ 2,500 百万円（同 7.6%増）とした。

利益面では、増収効果を強く見込み売上総利益率を前回予想より 3.9%ポイント高い、90.8%と想定した。販売促進費を含む広告宣伝費については 5,500 百万円（同 70.5%増）、対売上高比率 29.7%とし、上

期の対売上高比率(29.8%)に準じて前回予想の対売上高比率 30.0%より若干低い水準と想定した。以上より、売上高営業利益率は前回予想より 5.0%ポイント改善すると予想した。

【図表7】四半期別媒体別売上高推移



(注) 予想は証券リサーチセンター予想  
(出所) 決算短信より証券リサーチセンター作成

> 中期見通し

◆ 証券リサーチセンターの中期見通し

同社は中期経営計画を公表していない。当センターでは 15/2 期上期実績及び同社の 15/2 期新予想を踏まえ、前回レポートの中期業績予想を見直した。

今回の 17/2 期予想は、売上高 23,000 百万円(14/2 期から 17/2 期までの平均成長率は前回の 13.5%から今回は 20.8%へ)、営業利益 4,200 百万円(同 17.8%から 34.8%)、経常利益 4,196 百万円(同 18.2%から 35.1%)、当期純利益 2,400 百万円(同 18.1%から 36.7%)である。

売上高では、前回予想と同様に広告件数が紙からネットにシフトすることが続くと想定し、主力サイトである「バイトルドットコム」の平均成長率を年率 22.0%と前回の同 15.8%から上方修正した。同サイト売上高について 15/2 期に従来予想の前期比 21.9%増から同 48.4%増と大きな伸長を見込んだためである。

留意すべき点は従業員数である。14 年春の新卒採用者数は 134 名だったが、15 年春の内定者は約 300 名、16 年春の新卒採用も高水準を

検討している模様である。人件費等固定費負担の増加を想定し、16/2期及び17/2期の営業増益率は増収率を下回ると予想した。

【 図表 8 】 証券リサーチセンターの中期業績予想

	14/2期実績	旧15/2期E	15/2期E	旧16/2期E	16/2期E	旧17/2期E	17/2期E
売上高	13,050	15,500	18,500	17,400	21,000	19,100	23,000
メディア事業	10,727	13,000	16,000	14,800	18,400	16,400	20,300
バイトルドットコム	9,579	11,680	14,220	13,380	15,700	14,880	17,400
はたらこねっと	1,030	1,200	1,700	1,300	1,900	1,400	2,100
その他	118	120	80	120	800	120	800
エージェント事業	2,323	2,500	2,500	2,600	2,600	2,700	2,700
売上総利益率	87.8%	86.9%	90.8%	87.0%	89.5%	87.4%	88.8%
販売費及び一般管理費	9,742	11,200	13,200	12,500	14,900	14,000	16,220
(対売上高比)	74.7%	72.3%	71.4%	71.8%	71.0%	73.3%	70.5%
広告宣伝費	3,225	3,100	5,500	4,400	6,300	4,800	6,700
(対売上高比)	24.7%	20.0%	29.7%	25.3%	30.0%	25.1%	29.1%
営業利益	1,714	2,250	3,600	2,580	3,900	2,800	4,200
(対売上高比)	13.1%	14.5%	19.5%	14.8%	18.6%	14.7%	18.3%
経常利益	1,702	2,240	3,596	2,590	3,896	2,810	4,196
(対売上高比)	13.0%	14.5%	19.4%	14.9%	18.6%	14.7%	18.2%
当期純利益	940	1,240	2,000	1,430	2,200	1,550	2,400
(対売上高比)	7.2%	8.0%	10.8%	8.2%	10.5%	8.1%	10.4%

(出所) 証券リサーチセンター

## > 投資に際しての留意点

### ◆ 第 2 四半期末配当を実施へ

同社は、期末配当として年 1 回の配当を行うことを株主に対する継続的な利益還元策としてきた。しかし、同社は株主への利益還元の機会充実を唱え、15/2 期より上期末と期末の 2 回に分けて配当を行っていくと発表した。15/2 期上期の中間配当金は 1 株当たり 26 円、期末配当金は 19 円で、年間の 1 株当たり配当金は 45 円を計画している。同社予想に対する配当性向は 30.0%となる。なお、期初予想時点の 1 株当たり配当金は 34 円であり、同時点での予想配当性向は 30.3%であった。

当センターでは配当性向 30%程度の維持を想定し、15/2 期の期末配当金は 1 株当たり 28 円、年間では 54 円を予想する。16/2 期以降も増益傾向が続くと予想しており配当性向 30%を基準に増配基調が続くと予想する。

「ホリスティック企業レポートとは」

ホリスティック企業レポートとは、証券リサーチセンターが発行する企業調査レポートのことを指します。ホリスティック企業レポートは、企業側の開示資料及び企業への取材等を通じて収集した情報に基づき、企業価値創造活動の中長期の持続可能性及び株価評価などの統合的分析結果を提供するものです

本レポートの特徴

■ 魅力ある上場企業を発掘

新興市場を中心に、アナリスト・カバーがなく、独自の製品・技術を保有している特徴的な企業を発掘します

■ 企業の隠れた強み・成長性を評価

本レポートは、財務分析に加え、知的資本の分析手法を用いて、企業の強みを評価し、企業の潜在的な成長性を伝えます。さらに、今後の成長を測る上で重要な KPI (業績指標) を掲載することで、広く投資判断の材料を提供します

■ 第三者が中立的・客観的に分析

中立的な立場にあるアナリストが、企業調査及びレポートの作成を行い、質の高い客観的な企業情報を提供します

本レポートの構成

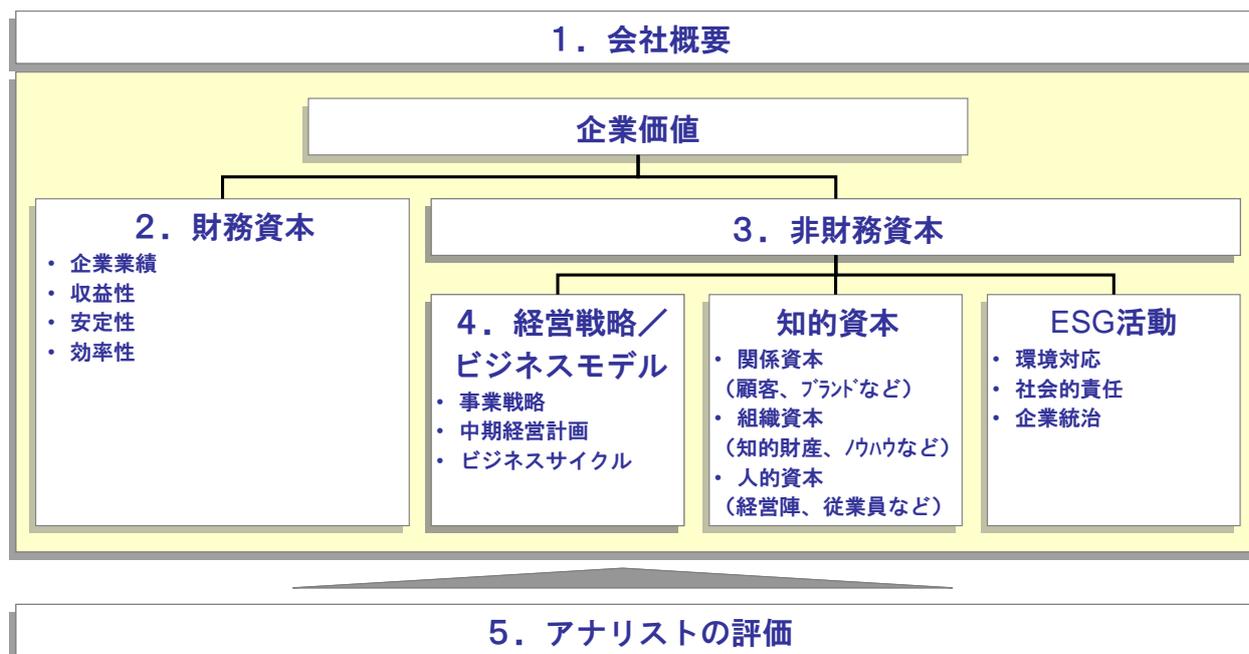
本レポートは、企業価値を「財務資本」と「非財務資本」の両側面から包括的に分析・評価しております

企業の価値は、「財務資本」と「非財務資本」から成ります。

「財務資本」とは、これまでに企業活動を通じて生み出したパフォーマンス、つまり財務諸表で表される過去の財務成果であり、目に見える企業の価値を指します。

それに対して、「非財務資本」とは、企業活動の幹となる「経営戦略／ビジネスモデル」、経営基盤や IT システムなどの業務プロセスや知的財産を含む「組織資本」、組織の文化や意欲ある人材や経営陣などの「人的資本」、顧客との関係性やブランドなどの「関係資本」、社会との共生としての環境対応や社会的責任などの「ESG 活動」を指し、いわば目に見えない企業の価値のことを言います。

本レポートは、目に見える価値である「財務資本」と目に見えない価値である「非財務資本」の両面に着目し、企業の真の成長性を包括的に分析・評価したものです。



## 指標・分析用語の説明

### ■ PER (Price Earnings Ratio)

株価を1株当たり当期純利益で除したもので、株価が1株当たり当期純利益の何倍まで買われているのかを示すものです

### ■ PBR (Price Book Value Ratio)

株価を1株当たり純資産で除したもので、株価が1株当たり純資産の何倍まで買われているのかを示すものです

### ■ 配当利回り

1株当たりの年間配当金を、株価で除したもので、投資金額に対して、どれだけ配当を受け取ることができるかを示すものです

### ■ ESG

Environment : 環境、Society : 社会、Governance : 企業統治、に関する情報を指します。近年、環境問題への関心や企業の社会的責任の重要性の高まりを受けて、海外の年金基金を中心に、企業への投資判断材料として使われています

### ■ SWOT 分析

企業の強み (Strength)、弱み (Weakness)、機会 (Opportunity)、脅威 (Threat) の全体的な評価を SWOT 分析と言います

### ■ KPI (Key Performance Indicator)

企業の戦略目標の達成度を計るための評価指標 (ものさし) のことです

### ■ 知的資本

顧客関係や業務の仕組みや人材力などの、財務諸表には表れないが、財務業績を生み出す源泉となる「隠れた経営資源」を指します

### ■ 関係資本

顧客や取引先との関係、ブランド力など外部との関係性を示します

### ■ 組織資本

組織に内在する知財やノウハウ、業務プロセス、組織・風土などを示します

### ■ 人的資本

経営陣と従業員の人材力を示します

## 免責事項

- 本レポートは、一般社団法人 証券リサーチセンターに所属する証券アナリストが、広く投資家に株式投資の参考情報として閲覧されることを目的として作成したものであり、特定の証券又は金融商品の売買の推奨、勧誘を目的としたものではありません。
- 本レポートの内容・記述は、一般に入手可能な公開情報に基づき、アナリストの取材により必要な補充を加え作成されたものです。本レポートの作成者は、インサイダー情報の使用はもとより、当該情報を入手することも禁じられています。本レポートに含まれる情報は、正確かつ信頼できると考えられていますが、その正確性が客観的に検証されているものではありません。また、本レポートは投資家が必要とする全ての情報を含むことを意図したものではありません。
- 本レポートに含まれる情報は、金融市場や経済環境の変化等のために、最新のものではなくなる可能性があります。本レポート内で直接又は間接的に取り上げられている株式は、株価の変動や発行体の経営・財務状況の変化、金利・為替の変動等の要因により、投資元本を割り込むリスクがあります。過去のパフォーマンスは将来のパフォーマンスを示唆し、または保証するものではありません。特に記載のないかぎり、将来のパフォーマンスの予想はアナリストが適切と判断した材料に基づくアナリストの予想であり、実際のパフォーマンスとは異なることがあります。したがって、将来のパフォーマンスについては明示又は黙示を問わずこれを保証するものではありません。
- 本レポート内で示す見解は予告なしに変更されることがあり、一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポート内に含まれる情報及び見解を更新する義務を負うものではありません。
- 一般社団法人 証券リサーチセンターは、投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならないと、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。
- 本レポートの著作権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## アップデート・レポート

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポートの配信に関して閲覧し投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならないと、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。また、本件に関する知的所有権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。